

【文京区】 ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」の実施について（依頼）（令和5年11月22日付け事務連絡）を受けて実施した測定結果では、文部科学省が示す当面の推奨帯域を満たす区立学校はなかったが、令和6年度に区立学校5校（小学校3校・中学校2校）を対象としたネットワークアセスメントを実施した結果、対象校全校で当面の推奨帯域を満たしていた。そのため、必要なネットワーク速度が確保できている区立学校数は、現時点で確認できる限り少なくとも「5校」はあり、総学校数に占める割合は「17％」である。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントにより明らかになった課題

前述のとおり、令和6年度に区立学校5校を対象にネットワークアセスメントを実施したところ、校内ネットワークの入り口の平均帯域は以下のとおりであり、ネットワーク帯域として課題はないという結果だった。

対象校	ダウンロード平均値	アップロード平均値	文部科学省推奨帯域
小学校①（980人規模）	752Mbps	757Mbps	686Mbps
小学校②（980人規模）	753Mbps	832Mbps	686Mbps
小学校③（665人規模）	655Mbps	705Mbps	566Mbps
中学校①（315人規模）	774Mbps	804Mbps	422Mbps
中学校②（180人規模）	818Mbps	820Mbps	323Mbps

また、以下 SaaS アプリケーション※へのアクセス及びアプリケーション経路の調査を行った。

※SaaS アプリケーション… 《小・中学校》学習 e ポータル（L-Gate）、Microsoft Teams
《小学校のみ》ドリル学習アプリ（ミライシード）
《中学校のみ》ドリル学習アプリ（e ライブラリ）

その結果、通信経路におけるパケットロスの多くがプロバイダーに起因するものであった。

また、校内 LAN について、スイッチ間接続でのパケット破棄も多く発生しており、アクセスポイントについても電波強度は問題ないが、ローミングや再送が発生している状況が確認できた。

（2）当該課題の解決方法と改善スケジュール

最も影響を受けていると思われるプロバイダー部分を優先し、令和7年度中にプロバイダーの変更を行う。また、アクセスポイントや校内 LAN 機器含めた更改を令和8年度中に行う。